

医療従事者不足の沖縄に看護師 市野さんを派遣

メディアに取り上げられました

現地の病院では一般病棟に2週間応援に入りました。市野さんは「疲弊したスタッフの力になりたい」と今回の応援派遣に自ら希望しました。

今回の派遣を受けて、中日新聞および東海テレビの取材に応じました。市野さんはインタビューに対し、「現地のスタッフは疲弊し不安を抱えていた。患者との信頼関係を築くことや自分にできることを探しスタッフに声をかけた。」と語りました。



新型コロナウイルスワクチン接種に対する感謝状をいただきました

名古屋刑務所の職員の方々へコロナウイルスワクチン接種を行ったことによる感謝状をいただきました。



診察の順番をスマホで確認できます!

「HOPE LifeMark-コンシェルジュアプリ」

アプリでできること

- ✓ 診察の順番表示
- ✓ 予約日時の確認



App Store からダウンロード 「HOPE コンシェルジュ」と検索



Google Play で手に入れよう 「HOPE コンシェルジュ」と検索

※本アプリはタブレットには対応していません。

病院内で登録を行う必要があります。登録方法は職員にお声がけください。



診療日カレンダー [Calendario de Atención]

休診 [Feriado] (2022年)

4月							5月							6月							7月											
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土					
					1	2	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4									1	2					
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9					
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16					
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23					
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30					



〒470-0396 愛知県豊田市浄水町伊保原500-1
TEL (0565) 43-5000 (代表) FAX (0565) 43-5100 (代表)
URL: <https://toyota.jaaiikosei.or.jp>
E-mail: tk-hosp@toyota.jaaiikosei.or.jp



豊田厚生病院

私たちはたえず 新しい医療のあり方を追求し 優しさと温かさを大切にして 地域の人たちと共に歩みます

カモメイト

Vol.95

spring

ご自由にお持ちください



特集 | コロナ禍がもたらしたがん治療への影響

INDEX

P2 新病院長のご挨拶

特集 P4 コロナ禍がもたらしたがん治療への影響

P6 連携医紹介

- かまたにクリニック
- おおしま小児科アレルギー科
- 日高内科
- 保志条クリニック
- 福島内科クリニック
- いしやま内科クリニック

P8 news

当院のプレゼンス、ブランディング
パフォーマンスを一層充実・発展させ
安心・安全で質の高い医療を展開します

病院長就任のご挨拶

2022年4月1日をもって豊田厚生病院の病院長に就任しました。当院は1947年(昭和22年)加茂病院として開設され、今年75年の節目となります。また、2008年(平成20年)の病院移転とともに豊田厚生病院としてスタートしてから14年目を迎えます。病院長就任にあたり、あらためて当院のプレゼンス、ブランディング、パフォーマンスを一層充実・発展させ、高度な専門医療の提供とともに安心・安全で質の高い医療を展開することにより、今まで以上に皆様から信頼される病院を目指します。

私は1989年に三重大学医学部を卒業し、名古屋第二赤十字病院(現 日本赤十字社 愛知医療センター 名古屋第二病院)・静岡済生会総合病院・名古屋大学医学部附属病院を経て、2009年当院に着任しまし

た。名古屋大学では神経・筋疾患、主に末梢神経疾患の研究に従事していましたが、1995年から2001年の間、週1回、加茂病院(当時)の診療にも携わっていました。この時期を含めると、当院とは約20年もの長きにわたる繋がりがあり、豊田厚生病院に懸ける熱いパッションは人後に落ちない自負があります。

当院は地域基幹病院として、救命救急センター・地域がん診療連携拠点病院・災害拠点病院・地域医療支援病院・難病診療連携協力病院など様々な役割を通して、地域住民の健康・福祉の向上に積極的に取り組んできました。また、2020年からパンデミックとなったコロナ感染症に対して第二種感染症指定医療機関として、2022年3月時点で、約600人の入院治療、約2万回のワクチン接種、約150人の抗体療法を行ってきました。愛知県下有数の実績を誇

みなさまの地域のかかりつけ医をご紹介します

日高内科

診療科目 内科、小児科

住所 豊田市陣中町1-4-3

電話 (0565)32-2197



院長 日高 太郎



先代の院長より当院を引き継いで20年余。地域の皆様に支えられながら、「かかりつけ医」としての役割を担ってまいりました。これからも健康に関わるどんな小さなことでも気軽に相談することのできる医院を目指しスタッフ一同努力してまいります。一人ひとりの患者さまに最善の医療を提供し、専門的な検査や治療が必要と思われるケースは豊田厚生病院と連携するなど、より良い地域医療の一端を担っていきたくております。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/	/
16:00~18:00	○	○	/	○	○	/	/	/

/:休診

保志条クリニック

診療科目 内科・小児科・泌尿器科

住所 豊田市和会町稲葉39-2

電話 (0565)21-3333



院長 保志条 博



豊田市和会町(南消防署近く)で開業しています。気がついたら22年間の月日が流れていました。
高血圧症、糖尿病、脂質異常症等生活習慣病の患者さまの管理を中心に泌尿器科疾患等に対応しております。10年程前から、水曜日午前を検診日として、予約制で腹部エコー、乳腺エコー、頸部エコーを積極的に行って、がんの早期発見に努めています。年間600例以上施行して診療中の腎・膀胱エコーを含めると1,000例以上になります。
この2年間コロナにずっと振り回されてきました。その都度対応してきたつもりですが、発熱外来は出来る範囲で抗原検査、PCR検査も院内で行っています。患者さま、お一人一人と全力で向き合う医療を目指し、毎日診療をしています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	/	○	○	○	/	/
16:30~19:00	○	○	/	○	/	/	/	/

※水曜日:健康診断、エコー検査、処置、往診等。診察はありません。 /:休診

連携医療 機関紹介

福島内科クリニック

診療科目 内科・循環器科・小児科

住所 豊田市秋葉町1-25-1

電話 (0565)37-7277



院長 福島 明彦



秋葉町で開業して22年になります。豊田厚生病院の前身である加茂病院では循環器内科で診療を行っていたので専門は高血圧症、不整脈、心不全、狭心症、心筋症等になります。循環器領域は急を要する疾患が多く緊急で豊田厚生病院に紹介させていただいています。当院では迅速血液検査装置と電子カルテシステムを採用しており心臓超音波検査、ホルター心電図、血管脈波検査、呼吸NO濃度測定、睡眠時無呼吸簡易検査も行えます。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/	/
15:30~16:00	/	▲	/	▲	/	/	/	/
16:00~19:00	○	○	/	○	○	/	/	/

※診察受付時間は朝08:30~11:45、午後15:30~18:45です、必ず受付終了時刻までに受付を済ませてください。 /:休診
※▲火曜と木曜の午後15:30~16:00は小児の予防接種時間帯です。

糖尿病・甲状腺 いしやま内科クリニック

診療科目 内科・糖尿病内科・内分泌内科
脂質代謝内科・代謝内科

住所 日進市浅田町西前田301番地

電話 (052)806-6001



院長 石山 雅美



糖尿病・甲状腺いしやま内科クリニックは、おかげさまで令和4年4月30日に開業8周年を迎えることとなりました。当院の特徴は、私をはじめスタッフが全員女性で、きめ細やかな心遣いができるということと、診療スタッフである看護師、管理栄養士は全員、糖尿病療養指導士の資格を有していることです。生活習慣病に対し、きめ細やかで質の高い診療が提供できると自負しております。当院の理念である「笑顔であふれるクリニック」が実現できるよう今後も努力を続けてまいりたいと思っています。

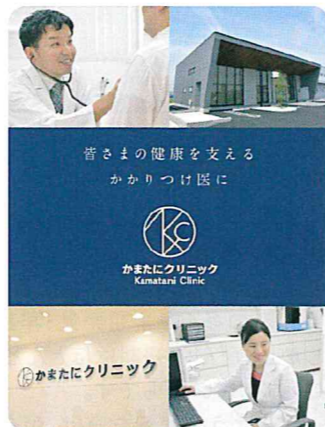
診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~11:30	○	○	○	/	○	○	/	/
16:00~18:00	○	○	★	/	○	/	/	/

※2022年4月より毎週水曜午後は超音波(エコー)検査や健診など、完全予約制の診察のみとさせていただきます。通常診療は行いません。ご了承願います。 /:休診

2019年6月開院

かまたにクリニック

診療科目 内科・糖尿病内科・内分泌内科
消化器内科・小児科



院長 釜谷 直人
副院長 釜谷 明美

住所 みよし市福田町基盤田2番1

電話 (0561)32-2122

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	1 院長	院長	院長	院長	院長	院長	/	/
	2 副院長	副院長★ 大学医師▲	/	副院長●	副院長●	専門医■	/	/
16:00~19:00	1 院長	院長	/	院長	院長	/	/	/

※受付時間は診察終了の15分前までです。
●…胃カメラ ★…大腸カメラ 検査のみ ▲…第3週 大腸カメラ /:休診
■…第2・4・5週 糖尿病・内分泌専門医

Q1 開業のきっかけを教えてください

医師になった時から、患者さんといねいにお話をしながら、お互いに納得しながら進んでいける、そんな医療を行いたいと思っており、自分らしさ、特色を生かしたクリニックを作り、実践したいと思ったのがきっかけです。

Q2 クリニックの特色を教えてください

院長が、糖尿病専門医、甲状腺専門医、内分泌代謝科専門医資格を有する。糖尿病、甲状腺、高血圧、高脂血症等の専門。副院長が女性医師で消化器専門医及び消化器内視鏡専門医を有する内視鏡検査を得意とする消化器内科の専門。また、2人共総合内科専門医であり、幼いお子様から高齢の方まで幅広くいねいに対応させていただきます。

Q3 先生はどのように地域と関わっていますか？

院長が豊田厚生病院に勤務させて頂いていた時住んでいたのがみよし市で、地域のみなさんが副院長や家族にもとてもやさしく接していただき、転職が決まった時に「また帰ってきてね」とおっしゃって頂いたのがとても印象的でした。そんな地でクリニックの仕事をさせて頂くことを心より嬉しく、誇りに思うとともに、精一杯医療で貢献し、ご恩返しができればと思っています。

Q4 地域医療連携について先生が大切にしていることは何ですか？

患者さんといねいに接し、よくお話を聞きながら、わずかな変化も見逃さず、必要な検査を迅速かつ的確に行うことを心がけ、クリニックで対応可能な範囲か、緊急入院や手術など高次医療機関での対応が必要かを常に見誤ることがないように努めています。

Q5 豊田厚生病院へのメッセージをお願いします

院長が5年間勤務させて頂き多くの経験をさせて頂いた事は今でも貴重な財産です、本当にありがとうございます。また、副院長も出産の際お世話になり心より感謝しています。このようなご縁のある貴院と、これからも密接な連携をさせて頂きたいと考えておりますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

2020年4月開院

おおしま小児科アレルギー科

診療科目 小児科
アレルギー科



院長 大島 美穂子



住所 豊田市西町1丁目112
マルチビル3階(豊田総合病院隣)

電話 (0565)36-5008

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	/	○	○	○	/	/
13:00~14:00	●	●	/	▲	●	/	/	/
14:00~17:00	○	○	/	○	○	/	/	/

○小児一般・アレルギー /:休診
● 予防接種・アレルギー(かぜなどの感染症の人は来られない時間帯です)
▲ 乳児健診・アレルギー(かぜなどの感染症の人は来られない時間帯です)
※どの時間帯もアレルギー診療を行っています。感染症の人が来院しない時間帯を希望される場合は●・▲の時間帯をご予約ください。
感染症対策のため、風邪などの一般診療は、9:00-12:00と15:00-17:00とします。
感染症のない方の時間を13:00-15:00に延長いたします。
感染症が不安な方は、13:00~15:00にお越しください。
ご不便をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。

Q1 開業のきっかけを教えてください

トヨタ記念病院小児科でアレルギー外来を担当するなかで、アレルギー専門医による専門診療を受けられる小児科クリニックが少ないと感じました。アレルギー診療で地域に貢献できたらと思い、加茂病院研修医時代の恩師である岩瀬勝彦先生が岩瀬小児科を閉院されるにあたり、クリニックを継承させていただきました。

Q2 クリニックの特色を教えてください

一般小児科診療、アレルギー診療を行っており、特に、食物アレルギーの診療に力を入れています。湿疹なのかアレルギー反応なのか、風邪なのか喘息なのかなど、専門医の意見を聞きたいと受診される方も多く、地域の皆さまの身近な相談先となれるよう、丁寧にお話を聞き、診察し、説明するよう心がけています。

Q3 先生はどのように地域と関わっていますか？

生まれ育った豊田市が大好きで、地域に貢献できたらと考えています。食物アレルギーの診療において、学校給食は非常に重要です。豊田市の学校給食の委員会に参加させていただいたり、園の先生方にアレルギー対応の講習をさせていただいたりしています。

Q4 地域医療連携について先生が大切にしていることは何ですか？

入院治療が必要な場合、高度な検査や治療が必要な場合、専門医の診療が必要な場合など、自身の診療で不十分な場合は、できるだけ早期に、適切な診療科に紹介するように心がけています。病院とクリニックで情報を共有し、スムーズな診療ができることが大切だと思います。

Q5 豊田厚生病院へのメッセージをお願いします

研修医としてお世話になった愛着のある病院です。これまで多くの紹介患者さんを診ていただいています。高度な医療を行っていただけるので、いつも安心して紹介させていただいています。大変感謝しています。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



豊田厚生病院 服部直樹 院長

経歴 [Career]

1989年 3月	三重大学 医学部 卒業
1989年 5月	名古屋第二赤十字病院 (現 日本赤十字社 愛知医療センター 名古屋第二病院)
1994年 6月	静岡済生会総合病院
1995年 5月	青木記念病院
1996年 4月	名古屋大学医学部附属病院 医員
2002年 4月	岡崎医療刑務所 法相法務技官
2005年 4月	名古屋大学医学部附属病院 助教
2009年 2月	名古屋大学医学部附属病院 准教授
2009年 3月	豊田厚生病院 部長
2014年10月	豊田厚生病院 代表部長
2018年 4月	豊田厚生病院 副院長
2022年 4月	豊田厚生病院 病院長

り、当院1400余名の職員は職種を問わず最前線のエッセンシャルワーカーとして、社会的使命を果たしてまいりました。

地域医療構想の観点からみますと、当院は西三河北部医療圏を担当しています。比較的若年層が多いと言われていた地域ですが、2025年以降の医療・介護需要予測指数は全国平均を大きく上回っています。そして、日本では2020年代に後期高齢者が前期高齢者の比率を超えて、高齢社会から文字通り超高齢社会を迎えます。私どもは専門的な医療を提供するとともに、超高齢時代に即応した医療体制を構築し、地域住民の健康・福祉の要諦として貢献することをお約束します。

現在、国際的なコンセンサスとして、2015年に国連で提唱された持続可能な17の開発目標(SDGs)があります。この中で医療に関する目標として、あら

ゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し福祉を促進することが挙げられています。当院もグローバルな社会的責務を果たすべく、未来に向けて医療・介護サービスの持続可能な供給の実現に向けて、意欲的に取り組んでいきます。

最後になりましたが、コロナ感染症との先のない戦いが未だに全世界を覆い尽くしています。この2年間、生活・環境が一変して、忍耐と犠牲を強いられている多くの方々には心よりお見舞い申し上げます。非常事態といえる状況下で病院長の職責を担うことになり身の引き締まる思いとともに、この難局を乗り越える覚悟をもって臨みますので、皆様のご支援とご協力を心より賜りたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

コロナ禍がもたらしたがん治療への影響

今回はコロナ禍における受診控えが、がん治療にどんな影響を及ぼしているか、「肺がん」治療の最前線で起きている事態をレポートします。

「がん検診」を「不要不急」と思っていないですか？

新型コロナウイルス感染症のパンデミックから2年、コロナ禍により医療の現場は激変しました。現在コロナ禍を理由とする「受診控え」により、取り返しのつかない事態に陥ってしまった人が続出しています。医療の最前線で今起きている深刻な状況です。特に「がん」は発見が遅れるほど身体的・経済的負担が大きく、再発・転移のリスクも高まります。

今回示すデータは呼吸器外科で収集したのですが、同じ状況が他診療科、他医療機関で起きていることは想像に難くありません。

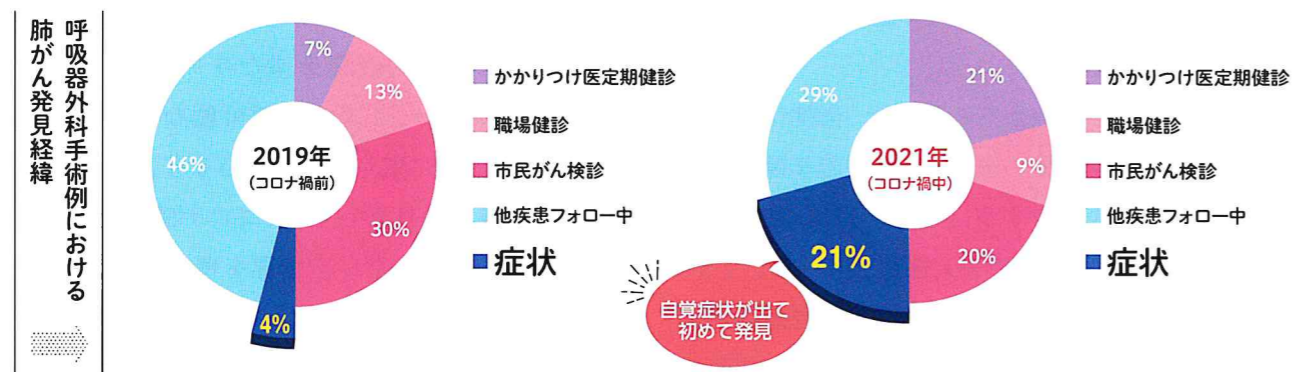
がん検診や健康診断は決して不要不急ではありません。基本的に毎年受けることで初めて早期発見・早期治療の恩恵が受けられ、大切な命を守ることにつながることを改めて知ってほしいと思います。



2 「自覚症状で発見」後の手術件数が急増

検診によるがんの発見件数が減少したことに関連するのが、「肺がん」の手術を受けた人がどんな経緯で肺がんが見つかったのかを、コロナ禍前後で調べたデータ結果です。

このデータで際立つのは、コロナ禍前には肺がんを「自覚症状で発見」してから手術を受ける例は全体の4%に過ぎなかったのが、コロナ禍後の2021年には21%にまで増加していることです。これに対してコロナ禍前には30%だった「市民がん検診」での発見も20%まで減少しており、早期発見につながる「がん検診」で発見できず、自覚症状が出て初めて見つかる人が急増していることがわかります。



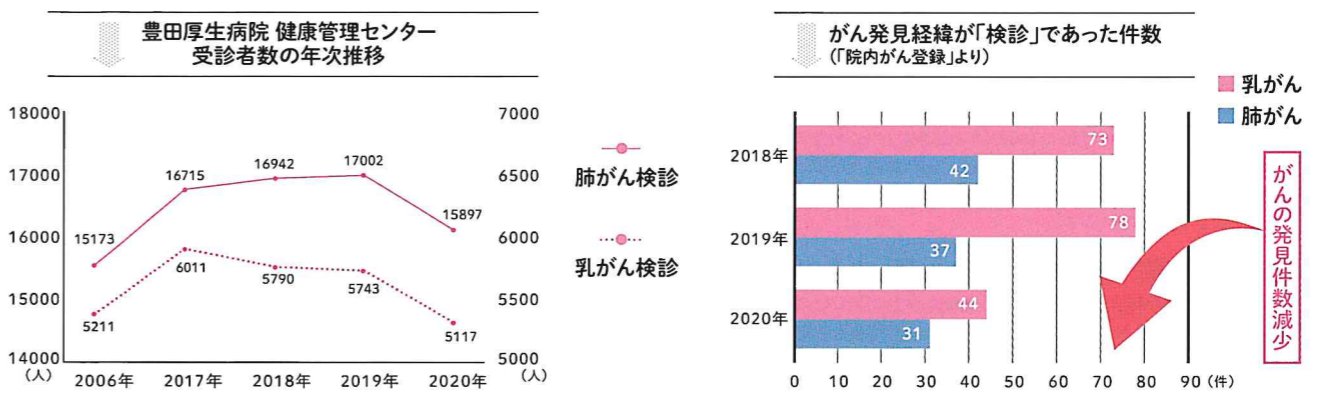
- ◆ 調査対象 2021年1月～4月に当院呼吸器外科で手術を施行した原発性肺がん患者連続30例
- ◆ 対照群として本邦コロナ禍直前の期間である2019年8月～12月における当院呼吸器外科の肺がん手術患者連続30例で同項目のデータを収集
- ◆ 肺がんの発見経緯を以下の項目に分類

健診・検診 胸部異常陰影	症状を有し受診	他疾患フォロー中の偶発的発見
<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医での定期健診: 胸部レントゲン ・職場での定期健診: 胸部レントゲン、胸部CT ・市民がん検診: 胸部レントゲン 	<ul style="list-style-type: none"> 咳・痰(血痰)、発熱、胸背部痛 労作時息切れ など 	<ul style="list-style-type: none"> 胸部レントゲン、胸部CT

1 減少する「がん検診」での発見件数

がんの多くは早期発見・早期治療により、良好な予後が期待でき、治療の身体的・経済的負担も少なく済みます。しかし、がんの初期はほとんど自覚症状がなく、あっても特有の症状ではないことがほとんどのため、他の病気と見過ごしてしまいがちです。

このような状況为避免、がんを早期に発見するのに不可欠なのが「がん検診」です。しかし、当院のデータだけでも、コロナ禍前後で健康診断の受診者数と検診によるがんの発見件数が極端に減少していることがわかります。



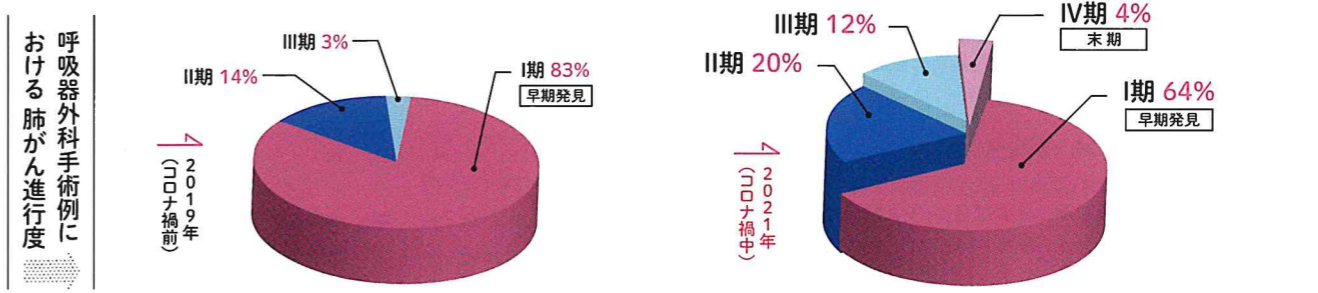
3 ステージ進行の肺がん手術件数が増加

「自覚症状」による肺がんの発見経緯が増加したことで起きたのが、手術時に肺がんのステージが進行しているケースが増えてきたことです。コロナ禍前はI期が圧倒的に多い83%、IV期は皆無でした。

これに対してコロナ禍後はI期が64%まで減少したのに対して、II期、III期がいずれも増加し、コロナ禍前はゼロだったIV期も4%みとめました。手術時にIV期と診断される肺がんはすでにがんが肺を破り胸の中に散らばった末期の状態といえます。

これに対して早期発見に相当するI期であれば、手術でがんを摘出するだけか、少し進行した場合でも再発防止の抗がん剤を術後一定期間、追加で内服する治療で済み、仕事などに支障のない日常生活が送れます。何より5年生存率も79%～88%と高い数字となっています。

一方でII期以降に入ってから手術では、肺がんを摘出してからも入院による抗がん剤治療を4回も受けなければなりません。ステージが進行するほど、治療による身体的・経済的負担は重くのしかかり、再発・転移のリスクも大きくなります。



がん検診の予約・お問い合わせ

豊田厚生病院健康管理センター
0120-78-5050

【平日】▶9:00～16:30
【土曜】▶(第1・第3のみ) 9:00～12:00
*健康状態に応じて、健診をお断りする場合がございます。

第1・3
土曜日も
やっています!

健康管理センターの
ホームページはこちら



年1回は
受けましょう